

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2020」(令和2年度中国高校生招へい事業)
事業概要・依頼内容

外務省が推進する対日理解促進交流プログラム「JENESYS2020」の一環として、中国(香港・澳門)から高校生計75名を招へいし、学校交流(高等学校訪問)を実施いたします。

下記の通り、中国高校生(香港・澳門)の学校交流につき、お受け入れ頂ける高等学校を募集します。

1. 趣旨：
中国の高校生を訪日招聘し、高校訪問など交流の場を通じて、日本の高校生や市民との親睦を深めるほか、日本の政治・経済・社会・歴史・先端産業・伝統産業・文化等が体感できるような施設や、地方都市の参観を通じて、日本についての多面的な理解と、日中両国青少年間の友好を促進することを目的とする。
2. 主管・実施団体：公益財団法人日中友好会館
3. 被招へい者：香港・澳門側派遣機関より派遣された香港・澳門の高校生
4. 来日時期・招へい人数：

香港・澳門高校生訪日団 75名(香港50名、澳門25名)

12月7日(月)～12月15日(火)

うち学校交流受け入れ日程 12月9日(水)もしくは12月11日(金)のいずれか1日

5. 依頼内容：
香港・澳門高校生の学校交流(高等学校訪問)の受け入れ。
 - (1) 訪問時間：終日交流(10:30～17:00 想定)を希望します。
午後のみ半日交流でも可ですが、終日交流可の学校が優先されます。
※具体的な訪問時間は受入決定後に(公財)日中友好会館と相談して決定。
※お受け入れ希望日については、文化祭や運動会等の学校行事が行われる予定の日にちを避けてご検討ください。
 - (2) 受け入れ人数：1校あたり25名(バス1台)
 - (3) 内 容：日本高校生との交流会、授業参加、部活動参加

※受け入れ人数は、引率若干名を含めた人数です。

※訪日団には、(公財)日中友好会館事務局(通訳含む)が同行します。

※訪問する香港・澳門高校生は英語が堪能な生徒を選抜しています。

※訪問する香港・澳門高校生は男子生徒と女子生徒どちらも含まれます。

※中高一貫校でのお受け入れでは、交流相手が高校生となるようご調整願います。

※移動、宿泊及び、終日交流の場合の訪日団の昼食手配については、(公財)日中友好会館が行います。

6. 経費：

本交流に関わる経費は、(公財)日中友好会館が負担いたします(但し、支払い制限有り)。詳細につきましては、実施の段階でご案内致します。

7. 新型コロナウイルス感染拡大による本事業への影響と対応について：

本事業は、香港・澳門及び日本国内での新型コロナウイルス感染が収まっていること前提として計画するものです。各陣ともに来日 3 か月前の時点で両地域での新型コロナウイルス感染の状況を確認した上で、香港・澳門側派遣機関及び外務省と協議し、招聘の可否を決定します。状況によっては、招聘中止により、学校交流をキャンセルする可能性がありますこと、予めご了承願います。

8. 連絡先

公益財団法人日中友好会館 総合交流部 行平 紀子

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-5-3 TEL：03-5800-3749 FAX：03-5800-5472

E-MAIL：yukihira@jcfc.or.jp (行平)

携帯電話：090-5440-1880 (行平)

なお、政府の緊急事態宣言発令中のご連絡は上記メールまたは携帯電話にご連絡ください。

※別紙(1～6)のデータ(WORD/EXCEL)が必要な場合は、上記8の連絡先担当者までご連絡ください。

以上